

ウクレレコード変換 の使い方

Ver.1.0 (iPhone)

Ver.1.0.0 (Android)

例を示して説明します。

1. 各部の名称

各部の名称を下の図に示します。

入力・変換コード表示

Before After

難易度表示
移調前コード

Difficulty 0 Transposition 0 Capotasto 0

Before (M) m 7 After

Aコード行
A A# B_b

Bコード行
B C C# D_b

D D# E_b

E F F# G_b

Gコード行
G G# A_b

自動検索
manual & input

上
下

1文字削除
all Clear

基本コード表示ボタン
Chord

カスタマイズボタン
Custom

移調度表示
カポ位置表示
移調後コード表示

難易度表示窓

メジャーコード列
マイナーコード列
セブンコード列

● : 難しい
● : やや難しい
● : 易しい
□ : 未使用

ホームポジション(移調度[0])

"移調前と移調後のコードが同じ位置"がホームポジションで、**all Clear** をタップするとホームポジションで全ての窓が閉じた状態に戻ります。同時にモードもマニュアルモードに戻り、コード入力できる状態になります。入力・変換結果表示の内容もクリアされます。上の写真の状態です。

2. 楽譜の準備

押さえられないコードがあったり、演奏すると音が高すぎたり低すぎたりして歌えない、など変換したい楽譜を準備する。
以下に楽譜例(ウクレレそうそう)を示します。

変換前

ウクレレそうそう

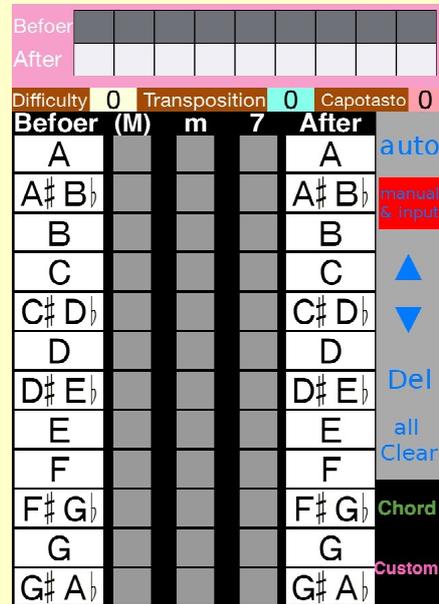
A ギターの **E** **D** コードで **A** 弾いてみる

D 弾き **A** にくいなって **B7** **E7** つぶやいた

3. 初期状態（ホームポジション）

全ての窓が閉じて、カポ位置が0の状態。

all Clear ボタンをタップするとこの状態になります。
(写真1参照)



[写真1]

4. 変換したいコードを入力する

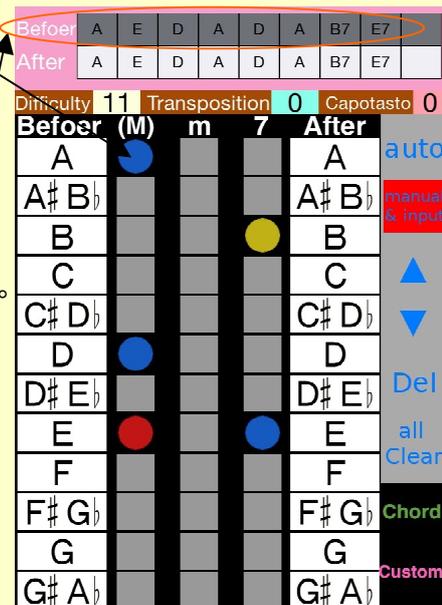
変換したい楽譜で使用されている全てのコードを入力する。
変換するコードのメジャー:(M)、マイナー:m、セブン:7の別で
縦の列を選び、A、A#、B、C、...G#、の別で行を選ぶ。
行と列の合った窓をタップして入力する。

- ①A (M)の列のA行の窓をタップする。
- ②E (M)の列のE行の窓をタップする。
- ③D (M)の列のD行の窓をタップする。
- ④A (M)の列のA行の窓をタップする。
- ⑤D (M)の列のD行の窓をタップする。
- ⑥A (M)の列のA行の窓をタップする。
- ⑦B7 7の列のB行の窓をタップする。
- ⑧E7 7の列のE行の窓をタップする。

入力・変換結果表示の上段に入力したコードが表示される。

まちがえて入力した場合は **Del** で1文字削除できる。

50コードまで入力可能で、左右にスクロールできる。
bのコードは#で表示されます。Ab7 → G#7
(写真2参照)



[写真2]

5. 弾き易いコードを探す

5.1 モードで弾き易いコードを探す

4. の状態から ボタンをタップする。
1番弾きやすいコードが入力・変換結果表示の下段に表示される。(写真3参照)
(同じ難易度の場合はカポ位置の小さいもの)

をタップすると2番目に引きやすいコードが入力・変換結果表示下段に表示される。
(写真4参照)

Before	A	E	D	A	D	A	B7	E7
After	G	D	C	G	C	G	A7	D7
Difficulty	0	Transposition	-2	Capotasto	2			
Before	(M)	m	7	After	auto			
A	●			G	manual & input			
A#B _b				G#A _b				
B			●	A				
C				A#B _b				
C#D _b				B				
D	●			C				
D#E _b				C#D _b				
E	●		●	D	all Clear			
F				D#E _b				
F#G _b				E	Chord			
G				F	Custom			
G#A _b				F#G _b				

[写真3]

Before	A	E	D	A	D	A	B7	E7
After	F	C	A#	F	A#	F	G7	C7
Difficulty	0	Transposition	-4	Capotasto	4			
Before	(M)	m	7	After	auto			
A	●			F	manual & input			
A#B _b				F#G _b				
B			●	G				
C				G#A _b				
C#D _b				A				
D	●			A#B _b				
D#E _b				B				
E	●		●	C	all Clear			
F				C#D _b				
F#G _b				D	Chord			
G				D#E _b	Custom			
G#A _b				E				

[写真4]

5. 2 manual
&input モードで弾き易いコードを探す

入力したオリジナルコードが入力・変換結果表示上段に
変換したコードが入力・変換結果表示下段に表示される。

- ① 4. の状態で開いた窓の下の色を見る。(写真2参照)
赤い丸が1ケあるので弾きにくいコードが1種類あることが分かる。 カポ位置: 0
- ② を1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が2ケあるので弾きにくいコードが2種類あることが分かる。 カポ位置: 1
- ③ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
全て青い丸で、全てのコードが弾きやすいことが分かる。(写真3参照) カポ位置: 2
- ④ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が1ケあるので弾きにくいコードが1種類あることが分かる。 カポ位置: 3
- ⑤ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
全て青い丸で、全てのコードが弾きやすいことが分かる。(写真4参照) カポ位置: 4
- ⑥ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が1ケあるので弾きにくいコードが1種類あることが分かる。 カポ位置: 5
- ⑦ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が1ケあるので弾きにくいコードが1種類あることが分かる。 カポ位置: 6
- ⑧ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
全て青い丸で、全てのコードが弾きやすいことが分かる。 カポ位置: 7
- ⑨ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が2ケあるので弾きにくいコードが2種類あることが分かる。 カポ位置: 8
- ⑩ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
全て青い丸で、全てのコードが弾きやすいことが分かる。 カポ位置: 9
- ⑪ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が1ケあるので弾きにくいコードが1種類あることが分かる。 カポ位置: 10
- ⑫ をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
黄色い丸が1ケあるので少し弾きにくいコードが1種類あることが分かる。 カポ位置: 11

注: どの位置にしても赤い丸がある場合は全てを弾きやすく変換することができません。
赤の一番少ない変換を択んで、残った赤のコードを練習するしかありません。

7. コードの弾き難さをカスタマイズする

初期状態では一般的なコードの押さえ易さになっています。

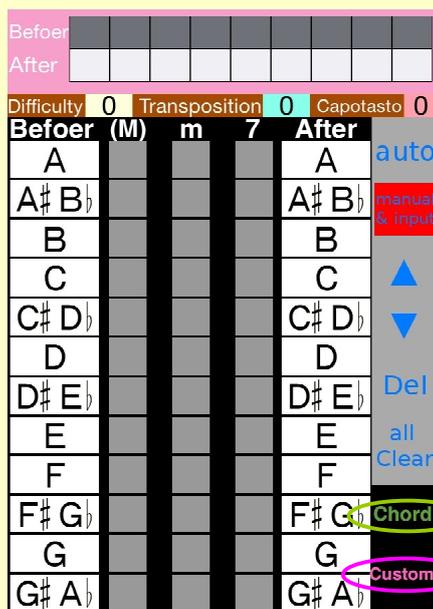
練習して上達した場合や、個人の得手不得手によって一般的なコードの押さえ易さと異なる場合

カスタマイズボタンで、個人に合わせてカスタマイズできます。

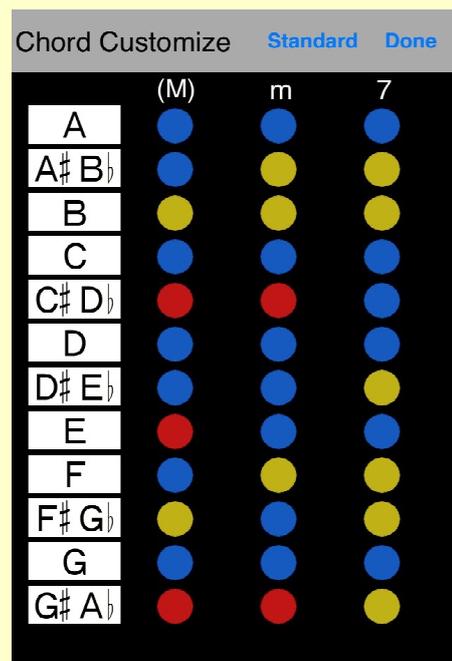
例えば、Bmは黄色(やや弾きにくい)になっていますが、うまく弾ける場合は青色に、まったく弾けない場合は赤にすることでより個人に合った変換ができます。

- ① **Custom** をタップする。(写真5参照)
- ② 変えたいコードの丸印をタップする。(写真6参照)
 (● → ● → ● → ● ...に順番に変化します)
 例 Bmが確実に演奏できるようになった場合
 mの列の上から3番目のBの行の ● を ● にする。
- ③ カスタマイズ画面の **Done** をタップする。

(標準に戻したい時は **Standard** をタップする)



[写真5]

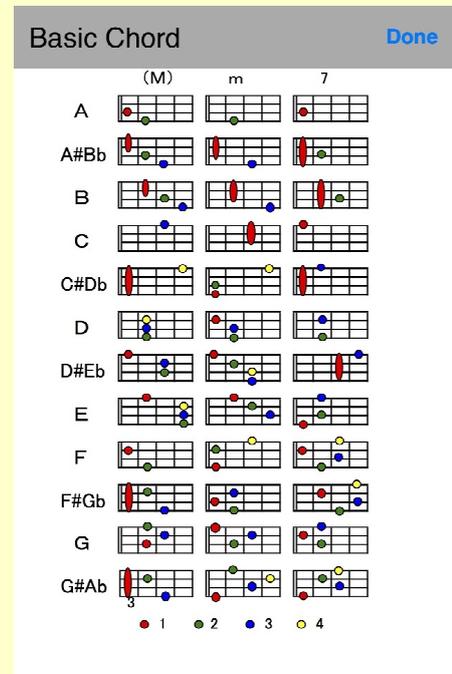


[写真6]

8. 基本コード表

基本コード表示ボタンをタップすると基本コード表が表示されます。

- ① **Chord** をタップする。(写真5参照)
- ② 基本コード表が表示されます。(写真7参照)



[写真7]